

「パラ駅伝 in TOKYO 2017」開催報告レポート 優勝は「ベリーグッドとちぎ」 チームよしもと、AAAも11,200名来場者と大応援 2017年3月12日(日)12:20~15:45、場所：駒沢オリンピック公園

この度、日本財団パラリンピックサポートセンター(以下、パラサポ)は、3月12日(日)に「パラ駅伝 in TOKYO 2017」を下記の通り開催いたしました。

パラサポは2015年5月に日本財団の支援により設立され、11月10日にパラリンピック競技28団体が入所する共同オフィスをオープンしました。今回行うパラ駅伝は、様々な障がいのあるランナーや健常者のランナー9人(伴走者含む)がチームをつくり、ゴールを目指してタスキをつなぐ駅伝で、今回2回目の開催となります。駒沢オリンピック公園の1周約2.5kmのコースを8区間で8周、合計約20.5kmを走り、今回は東日本エリアから14都県17チーム、153名のランナーが参加。10代から60代まで、パラリンピアンから市民ランナーまで幅広い選手が出場しました。

会場には1万1200人が来場。日体大プラスバンド&チアリーダー&応援団のパフォーマンスの後、盲目のアーティスト木下航志(きしたこうし)とわたなべちひろのオープニングライブで、一気に高揚した観客席。そんな中ついに選手が入場！絶好の大会日和、青空の下、チームよしもとの「明日があるさ」の歌声によって、観客も選手も笑顔あふれ心躍る入場となりました。

開会式では、山脇康日本財団パラリンピックサポートセンター会長、小池百合子東京都知事、松野博一文部科学大臣、丸川珠代東京オリンピック・パラリンピック担当大臣による挨拶の後、木下航志による国歌斉唱が行われました。

スターターは小池百合子東京都知事が務め、応援ゲスト・ご当地キャラクターはコースサイドに勢ぞろいで応援！

今回、この駅伝を応援するゲストには、木下航志、わたなべちひろ、AAA、「チームよしもと」としてココリコ・遠藤章造、次長課長・河本準一、南海キャンディーズ・山里亮太、インパルス・板倉俊之と堤下敦、ミス・インターナショナル森理世ら15名、ご当地キャラクター16体が参加。会場を盛り上げるだけでなく選手への応援、インタビューなども行い、参加者が一体となって楽しめるイベントとなりました。

レース中、選手が競技場外を走っている間には、チームよしもとから、河本準一、山里亮太、森理世、板倉俊之、堤下敦、馬場裕之の合計6人が、車いすバスケットボールを体験。シドニーパラリンピック車いすバスケットボール日本代表キャプテンの根本慎志氏のレクチャーを受けながら、ドリブルやシュート練習、3on3を体験。山里は、「ホントに難しい、体験すると選手がどれだけすごいかわかりますね。」と感想を述べ、森は「届かない！」など必死でプレイ、楽しくも真剣な様子。

次に、手話を体験。手をたたかない手話による拍手のやり方を教わると、想像もつかない形に一同びっくり。

一方、車いすランナーの走りを見たAAAの浦田直也は、初めてパラスポーツ大会に参加し、1区の視覚障害ランナーが伴走者と一緒に走っている姿を目の当たりにして、「すごい迫力でした！」と驚きと共に感動していた様子。

他にもレース中の実況や選手へのインタビューを行い、競技終盤には、AAAが登場し、会場の客席全体をウェブで応援するなど全力で盛り上げました。そして、選手全員のゴールをAAAやチームよしもとのメンバーらが見守る中、最後にフィールドへ入ってきたのは、TEAMよしもとのアンカー木村真野。車いすで力を振り絞り走る木村へ贈られた大歓声の中、フィニッシュ。「最後まで頑張れという声援が聞こえて、うるうるして走っていました。」と木村。キャプテンのココリコ・遠藤は「本当に皆さん、ありがとうございました！最高です！」と感動と感謝を伝えました。会場は終始大声援の応援が続き、全員が無事にゴールを終えることができました。

優勝は「ベリーグッドとちぎ」。準優勝は、「東京わくわくエンジョイ」、第3位は、「新潟コメット」でした。「ベリーグッドとちぎ」へは、パラサポ会長の山脇康によって優勝杯が授与され、延與桂都知事代行からは東京都知事賞の表彰状が贈られました。また、「最も印象に残ったチーム」に贈られる日本財団会長賞は、一生懸命応援している姿が印象的だったということで、「TEAM MIYAGI」が選ばれました。また、チーム成績と区間賞は以下の通りです。

<チーム成績>

1位	ベリーグッドとちぎ(栃木県)	1時間 21分 47秒
2位	東京わくわくエンジョイ(東京都)	1時間 24分 12秒
3位	新潟コメット(新潟県)	1時間 28分 55秒
4位	山梨 Meteor(山梨県)	1時間 33分 30秒
5位	岩手ハネマルスターズ(岩手県)	1時間 36分 38秒
6位	ふじっぴー静岡(静岡県)	1時間 36分 49秒
7位	オンリー1(東京都)	1時間 37分 09秒
8位	さわやかレモン(東京都)	1時間 37分 14秒
9位	かわさきパラムーブメント(神奈川県)	1時間 37分 49秒
10位	ぐんま空風 RUN(群馬県)	1時間 38分 22秒
11位	いいじゃん!横浜(神奈川県)	1時間 38分 38秒
12位	熱いぜ!埼玉(埼玉県)	1時間 39分 05秒
13位	TEAM MIYAGI(宮城県)	1時間 40分 02秒
14位	いばラッキーズ(茨城県)	1時間 41分 26秒
15位	しなのパープルズ(長野県)	1時間 42分 58秒
16位	チーバくん(千葉県)	1時間 52分 17秒
17位	福島ピーチダイヤモンド(福島県)	2時間 02分 09秒
(参考・18位)	TEAM よしもと	2時間 05分 14秒

<区間賞>

1区	米岡聡・奥村直樹(伴走者)(東京わくわくエンジョイ)	9分 00秒
2区	山中孝一郎(東京わくわくエンジョイ)	8分 10秒
3区	新津和良(しなのパープルズ)	10分 56秒
4区	絹野紗月(東京わくわくエンジョイ)	9分 05秒
5区	五味翔太(山梨 Meteor)	7分 49秒
6区	永田務(新潟コメット)	8分 07秒
7区	大橋一博(チーバくん)	7分 59秒
8区	高室冴綺(東京わくわくエンジョイ)	12分 08秒

(参考)<TEAM よしもと>

1区	しいはしジャスタウェイ・おもしろ佐藤(伴走者)(御茶ノ水男子)	15分 02秒
2区	山本博(ロバート)	12分 48秒
3区	ハブサービス	19分 34秒
4区	ami(J☆Dee'z)	13分 38秒
5区	タケト	15分 24秒
6区	竹若元博(バッファロー吾郎)	14分 01秒
7区	遠藤章造(ココリコ)	15分 58秒
8区	木村真野	18分 49秒

■大会概要

- ・日 時:2017年3月12日(日) 12:20~15:45
 - ・場 所:駒沢オリンピック公園陸上競技場及びジョギングコース(東京都世田谷区駒沢 1-1)
 - ・主 催:日本財団パラリンピックサポートセンター
 - ・協 賛:株式会社ジェイティービー
 - ・スケジュール:
 - 11:30~ 開場:日本体育大学・応援団部
 - 11:50~ オープニングライブ
 - 12:20~ 開会式
- 挨拶 山脇康 日本財団パラリンピックサポートセンター会長



小池百合子 東京都知事／日本財団パラリンピックサポートセンター特別顧問
松野博一 文部科学大臣、丸川珠代 東京オリンピック・パラリンピック担当大臣

国歌斉唱：木下航志(きした・こうし)

選手宣誓：半谷静香、山田真樹、國生将興、岩松綾香

13:00～ パラ駅伝競技

スターター 小池百合子 東京都知事

応援ゲスト(インタビュー等)

■チームよしもと

バッファロー吾郎：竹若元博、ココリコ：遠藤章造、次長課長：河本準一、タケト、ハブサービス
インパルス：板倉俊之・堤下敦、ロバート：馬場裕之・山本博、南海キャンディーズ：山里亮太、
御茶ノ水男子：おもしろ佐藤・いしはしジャスタウェイ、木村真野、J☆Dee'Z：アミ、森理世

■AAA

西島隆弘(にしじま・たかひろ)、宇野実彩子(うの・みさこ)、浦田直也、日高光啓(ひだか・みつひろ)、
與真司郎(あたえ・しんじろう)、末吉秀太(すえよし・しゅうた)

■ご当地キャラクター

神奈川県・川崎：かわさきぶりん、長野：アルクマ、宮城：むすび丸、東京：ゆりーと、山梨：武田菱丸
千葉：チーバくん、埼玉：コバトン、茨城：いばラッキー、福島：キビタン、岩手：わんこきょうだいそばっち
神奈川県・横浜：あさひくん、ミズキー、栃木：とちまるくん、群馬：ぐんまちゃん、
新潟：トッキッキ、ヤクルト：つば九郎

15:15～15:45 表彰式 プレゼンター：山脇康、延與桂東京都知事代行、笹川陽平日本財団会長

ファイナーレ歌(2曲) AAA：「NEW」「Yell」

来場者数：1万1200人

■競技概要

・駅伝距離：1区間(各区間共通約2.563Km)×8区間 合計約20.504km

・参加チーム：合計17チーム(1チーム8名)

岩手県/1チーム、宮城県/1チーム、福島県/1チーム、茨城県/1チーム、栃木県/1チーム、群馬県/1チーム、
東京都/3チーム、神奈川県/2チーム、千葉県/1チーム、埼玉県/1チーム、山梨県/1チーム、新潟県/1チー
ム、長野県/1チーム、静岡県/1チーム

・走者：1チーム8区間9名(男女混合)

第1区：視覚障がいランナー及び伴走者

第2区：聴覚障がいランナー

第3区：車いすランナー(男)

第4区：健常ランナー(女)

第5区：知的障がいランナー

第6区：肢体不自由ランナー

第7区：健常ランナー(男)

第8区：車いすランナー(女)

○第3区、第8区：

・車いすランナーは肢体不自由者であれば障がい内容は問わない。

・車いすランナーはレーザー以外の車いすを使用するものとする。

○第6区：立位の肢体不自由者であれば障がい内容は問わない。

○第1区、第2区、第5区、第6区：ランナーの性別は問わない。

～コメント～

<開会式来賓挨拶>

【山脇康】日本財団パラリンピックサポートセンター会長

皆さんこんにちは。挨拶の前からこんなに盛り上がっていて、最後までどうことになるのかと思っています。大勢の皆さんに参加頂き有難うございます。

大変お忙しい中、ご臨席をたまわりました松野大臣、丸川大臣、小池東京都知事、笹川会長、その他来賓の皆様、選手、スタッフ、ボランティアの皆さん、そして応援に駆けつけて頂きました木下さん、そして盛り上げて下さったチームよしもとの皆さん、AAAの皆さん、本当に有難うございます。さらに本大会に協賛頂きましたJTB様、ご協力頂きましたアシックス様へも厚く御礼申し上げます。

集計によると1万人以上の集まれた皆さんと共に、素晴らしい天気の下、大会を迎えられたことを非常に嬉しく思っています。一昨年に第1回を開催し、今回第2回目ということで、新たに岩手、宮城、福島の本県にご参加頂き、1都13県、17チーム153名がゴールをめざしたすきを繋ぐこととなります。選手の皆さんがこれまで、一生懸命練習された成果を発揮されて、一丸となって走られる姿を楽しみにしています。

昨年のリオのパラリンピック大会は、ブラジル特有の楽しいそして大熱狂する観客、ボランティアの皆さんが、本当に楽しんでいて、これこそが楽しむということを体現した大会だと思いました。

日本財団パラリンピックサポートセンターは「i enjoy !～楽しむ人は強い！」を合言葉にしています。ひとりひとりが「i enjoy !」し、リオ大会以上にこの駅伝大会を楽しい大会にしたいと思っています。スポーツを通じて、ひとりひとりがいきいきと輝ける、そして活躍できる社会を実現できればと思っています。それでは皆さん、大いに楽しんでがんばってください。

【小池百合子】東京都知事／日本財団パラリンピックサポートセンター特別顧問

皆さんこんにちは！今日は選手の皆さんとおそろいのジャージを着てきました。素晴らしいこの駅伝日和。皆さんもこれまでの色々な練習、打ち合わせを存分に発揮していただくのにこれほどの日はありません！そして、今回は第2回ということで、これから素晴らしい大会が行われようとしています。東京パラリンピック2020年もまもなくです！パラリンピックの成功なくして東京大会の成功はないという思いで、今一生懸命準備をしています。そして、パラリンピックを成功させようとする、東京の色々な段差を無くしていくのをこれをきっかけにどんどん進めていき、誰にとっても優しいまちづくりを進めていきたいと思っています。そして、パラリンピックのサポーター「BEYOND2020」も募集中で、現在すでに48万人が登録して頂いています。

TEAM よしもとの皆さんも参加して下さいますか？(はい！というチームよしもとの声を受けて)有難うございます。

東京大会の際はみなさんで応援に行こうではありませんか！

皆さんの力が東京大会を成功させるとしています。そして今日は駅伝、1人1人の力とそれを繋ぐ力が一体となって、良い成績が生まれると思っています。

今日は思い出に残る、そして2020年の東京大会に繋がる大会にしていきましょう！

【松野博一】文部科学大臣

こんにちは。本大会が、素晴らしい快晴の下に行われることを心よりお喜び申し上げます。

現在文部科学省では、障がい者スポーツのすそ野を拡大する取り組みを進めています。

このような中、開催される本大会は、障がいの有無に関わらず、誰もがスポーツを楽しみお互いの理解を深める意義深いイベントであります。選手の皆さんは、練習の成果を発揮し、チーム一丸となって優勝を目指すと共に、各地から集った仲間と交流をし、絆を深めて頂けたらと思います。

本大会の開催にご尽力された皆さまに深く敬意を表するとともに本大会の成功とますますのご発展をお祈りします。皆さん頑

張ってください！

【丸川珠代】東京オリンピック・パラリンピック担当大臣

こんにちは。今日は本当に多くの皆さんにご参加、応援に駆けつけて頂き、有難うございます。

快晴の下で本大会が行われることを、本当に嬉しく思います。

障害あるなしを超えて、チームでひとつのたすきを繋ぐ、まさに私たちがこれから、パラリンピックあるいはその先にかけて引き継いでいきたい社会の姿そのものだと思います。

皆さまユニバーサルデザイン行動計画2020というものを作りました。

3つ大事な点がありまして、一つは震が関で障がい者の皆さんへの施策を作るときには立案の段階から当事者の皆さんに入って頂くこと。今までのようにできた段階でどうですかということではなく、最初から案に参加して頂くということです。

そして二つ目は心のバリアフリーということです。2020年からは、心のバリアフリーを学校でも学んでいくこととなります。大人の皆さんにも是非これを経験して頂きたいと思っています。

そして三つ目はスポーツバリアフリーガイドラインが、設計標準を変えて、ユニバーサルなデザインに基づいたまちづくりを日本全国で進めていくということです。

これから、2020年のパラリンピックに向かって、日本の社会が、障がいに対する考え方を大きく変えていくことになると思います。

是非今日いらっしゃる皆さんと一緒にこの新しい社会を作って頂けませんか？よろしくお祈いします。がんばりましょう！

<開会式選手宣誓>

【半谷静香】(はんがい・しずか)

宣誓！私達選手一同は、パラ駅伝の開催趣旨にのっとり、性別、年齢、障害の垣根を越え、チームの為に、タスキをつなぎます。

【山田真樹】(やまだ・まき)

私達選手は、「I enjoy !」の精神にのっとり、この大会を心から楽しみ最後まであきらめずに走りぬきます。

【國生将興】(こくしょう・まさおき)

今日、会場にお越しのみなさん、ボランティアさん、そしてこの駅伝に関わる全ての人へ感謝の気持ちを込めてベストを尽くします。

【岩松綾香】(いわまつ・あやか)

この大会を通して、多くの方々に、走ることの楽しさ、スポーツの素晴らしさを伝え、誰もが輝ける社会の実現を目指して選手一同全力を尽くすことを誓います。

平成 29 年3月12日、選手代表、半谷静香、山田真樹、國生将興、岩松綾香

<応援ゲスト登壇時挨拶>

山里さんからメンバーの紹介あり

【河本準一】(次長課長)

お前にくわせるたんめんはねえ！ がフィールドに響き渡る

遠藤 我々精一杯頑張ります。皆さん、最後までよろしくお願いします！

【AAA】(トリプルエー)

…スタート後すぐに登場し…

浦田:さっきスタートの目の前にいたんですが、すごい迫力でした！

西島:僕は千葉県出身なので千葉県のチームを注目しています！

與:選手の走りを見ていると、腕の回し方が本当にすごいですよね。皆さんの力強い走りに圧倒されます。

…大会終盤に再び登場し今までの選手たちの様子を見て…

浦田:僕は陸上部だったので皆さんの辛さがわかります。

與:終盤から追い越すこともありますし、まだまだいけると思うので皆さん諦めず頑張ってください！

宇野:こっちまで熱くなります。パワフルで私も元気になりました。

末吉:とにかく諦めずに、前を向いて、次のランナーにタスキを繋いでもらいたいです。

西島:駅伝はチーム制なので、仲間と心を繋げてがんばってほしいです。苦しい時は声援も力になるので観客の皆さん、これからも応援していきましょう！

<表彰式>

【笹川陽平】日本財団会長／日本財団パラリンピックサポートセンター特別顧問

この大会は、長年にわたり障がい者のためにお働き頂いた八代先生の発案によります。今回2回目ですが多くのボランティアの皆様方、そして大会運営に関わってくれた方、なにより選手諸君の懸命な走りが美しく感動的でした。

多くの皆さんに強い力を与えてくれたことと思います。

終日、多くの皆さんの声援が、どれだけ選手に力を与えてくれたかわかりません。全ての皆さま、特にチームよしもとのみなさんには数日大声で激励を頂きました。こういう全ての皆さんが一体となった大会は大変珍しいことです。チームよしもとの皆さんにも今一度拍手をお送り下さい！好天にめぐまれ本当に素晴らしい爽やかな一日でした。選手には、もちろん勝って頂きたいのですが、全ての方が敢闘賞であります。来年もまたここで皆さんとお会いしましょう。そして観客席の皆さんも是非応援をお願いします。皆さん、ありがとう！

<大会終了後、優勝したベリーグッドとちぎ」への囲み取材>

【第1区:加治佐博昭選手】

うまく流れを作れて、優勝することができたので嬉しいです。個人的には区間賞を狙っていたのですが獲れなくて悔しいです。2020年のパラリンピック東京大会も目指して引き続き頑張っていきたいと思います。

【第8区:大森亜紀子選手】

良いチームでした。チームワークが良かったから優勝できたのだと思います。

アンカーとしてフィールドに入ってきた時は、歓声が聞こえてああ戻ってこられたんだとほっとしました。

本大会の内容は、上記の通りです。今後とも、ご支援いただきたく、どうぞ、よろしくお願いたします。

【お問い合わせ】 公益財団法人 日本財団パラリンピックサポートセンター パラ駅伝大会事務局
The Nippon Foundation Paralympic Support Center
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル 4 階
TEL: 03-6229-3721 / FAX: 03-6229-3722 / Email: ekiden@parasapo.tokyo
URL: <https://www.parasapo.tokyo/paraekiden/>